



平成30年7月4日

はこだて えさし もへじきこない
函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路

「現地説明会」の開催延期について

6月25日（月）に報道発表しました「^{はこだて えさし}函館・江差自動車道 ^{もへじきこない}茂辺地木古内道路」の報道機関を対象とした現地説明会につきましては、7月5日（木）に実施する予定でしたが、台風第7号の接近に伴い悪天候が予想されることから、安全を考慮し、延期させていただきますので、お知らせいたします。

なお、新たな実施日時につきましては、下記のとおりといたします。

記

【現地説明会】別紙参照

○日 時：平成30年7月13日（金）14時00分～

○集合場所：函館・江差自動車道 木古内町 木古内IC（仮称）

※現場での安全確保のため、取材は事前に登録していただくこととしておりますので、取材を希望される方は7月6日（金）までに以下の問合せ先へお知らせください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

広報官 ^{はなうえ}花上 真美（電話番号 0138-42-7702）
道路計画課 課長 ^{たにうち}谷内 敬功（電話番号 0138-42-7614）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



【現地説明会案内図】

別紙

取材の事前登録をされた方は、各自、以下の集合場所へお集まりください。



【説明内容】

- 事業概要・・・函館開発建設部
- 埋蔵文化財発掘調査・・・北海道(埋蔵文化財センター)

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

平成30年6月25日

はこだて えさし 函館・江差自動車道 もへじきこない 茂辺地木古内道路の進捗状況について

函館開発建設部で整備を行っている「^{はこだて えさし}函館・江差自動車道 ^{もへじきこない}茂辺地木古内道路」は、北斗茂辺地IC～木古内IC（仮称）を平成31年度の開通を目標として事業を進めております。

今般、工事実施前に行っている埋蔵文化財発掘調査において変化が生じたことから、事業の進捗状況についてお知らせいたします。

あわせまして、現地において報道機関を対象とした説明会を下記のとおり行います。

記

【事業状況】

○箇所名：函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路

○区間：北斗茂辺地IC～木古内IC（仮称）

○事業状況変化：

木古内町^{こうれん}幸連地区の「幸連5遺跡」において、当初想定を大きく超える遺構や遺物が出土しており、今後の調査状況によっては、工事工程に影響が生じる可能性があります。

【現地説明会】別紙参照

○日時：平成30年7月5日（木）14時00分～

○集合場所：函館・江差自動車道 木古内町 木古内IC（仮称）

※現場での安全確保のため、取材は事前に登録していただくこととしておりますので、取材を希望される方は6月28日（木）までに以下の問合せ先へお知らせください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

広報官 ^{はなうえ}花上 真美（電話番号 0138-42-7702）

道路計画課 課長 ^{たにうち}谷内 敬功（電話番号 0138-42-7614）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



函館・江差自動車道 一般国道228号 茂辺地木古内道路

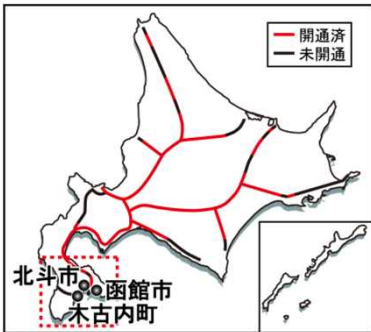
【事業概要】

- 函館・江差自動車道は、函館市を起点とし、北斗市、木古内町を經由して江差町に至る延長約70kmの自動車専用道路です。
- 茂辺地木古内道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び重要港湾函館港、拠点空港函館空港等への物流の効率化等の支援を目的とした、北斗茂辺地ICから木古内IC(仮称)に至る延長16.0kmの事業です。

【埋蔵文化財発掘調査状況(北海道(埋蔵文化財センター))】

- 事業区間には、18箇所の埋蔵文化財包蔵地が広範囲に点在しており、平成22年度から埋蔵文化財発掘調査を行っています。
- このうち、木古内町幸連地区の「幸連5遺跡」において、当初想定を大きく超える遺構や遺物が出土しています。
- 事業区間の他の遺跡と比べ、体制を拡充して調査を進めています。

■位置図



■埋蔵文化財発掘調査箇所

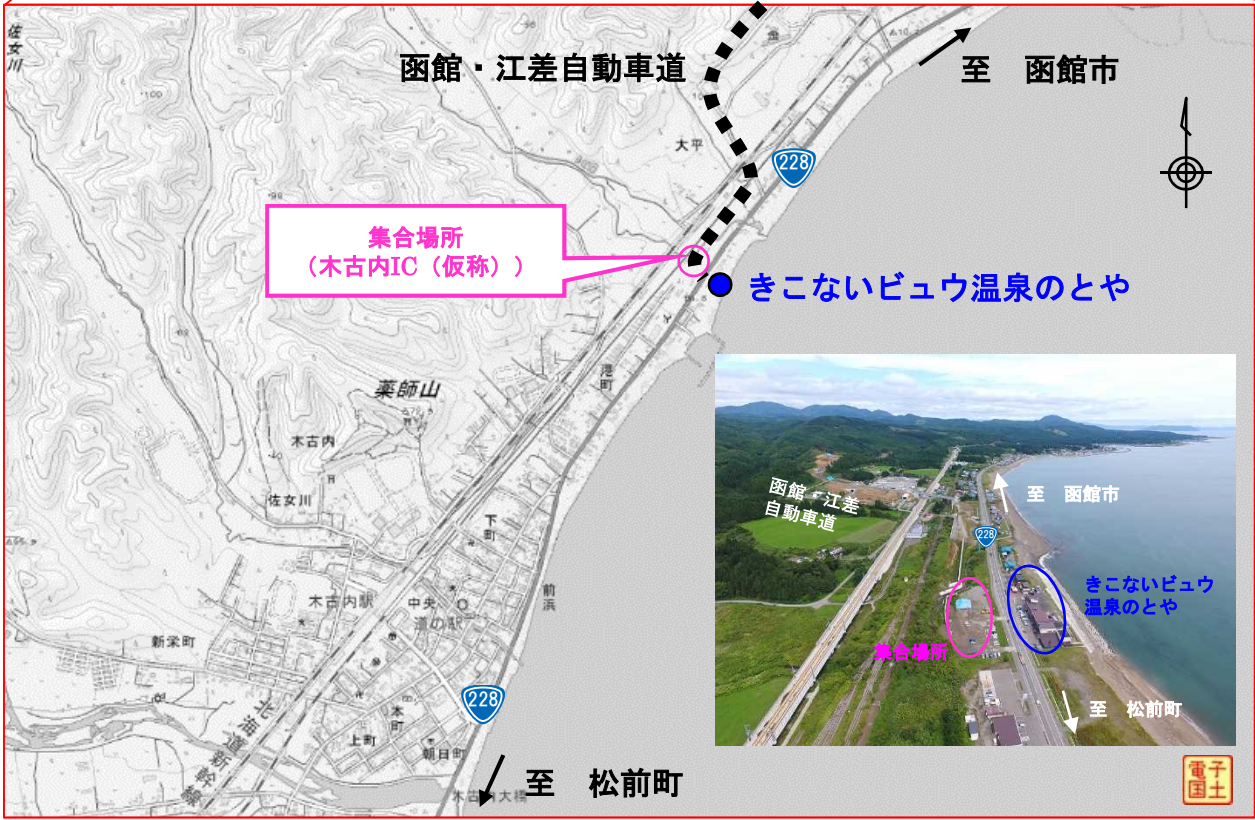


函館・江差自動車道 一般国道228号 茂辺地木古内道路

【現地説明会案内図】

別紙

取材の事前登録をされた方は、各自、以下の集合場所へお集まりください。



【説明内容】
 ○事業概要・・・函館開発建設部
 ○埋蔵文化財発掘調査・・・北海道(埋蔵文化財センター)

